



デジ**タイ**ゼーション

アナログ → デジタル
紙データ

デジタ**ライ**ゼーション

デジタルデータを**活用**する
プロセスをデジタル化

レンタルビデオ → 動画配信
電話、Fax → SNS、チャット

デジタルトランス フォーメーション

デジタルの力で会社経営の
仕方や働き方を**変える**こと

DX (Digital **Trans**formation) : デジタル化によって産業を変革
変化、交差

1. **ビジネス系プロデューサー (ビジネス・アーキテクト)**: DXによるビジネス・**ゴールを定義**し、新たな**ビジネス・モデル**を考えたり、DXに関する**企画**を考えたりする役割を担う。経営層や社内外の意思決定者とのビジネス面でのコミュニケーションにも責任を持つ。
2. **テクノロジー系プロデューサー (テクノロジー・アーキテクト)**: ビジネス・ゴールの達成に向けた最適なデジタル・テクノロジーの特定やテクノロジーの適用によるシステム面の影響の**分析、予測**などを担う。経営層や社内外のエコシステムのパートナーに対する技術面のコミュニケーションにも責任を持つ。
足立は次のように述べています。「ビジネス系プロデューサーとテクノロジー系プロデューサーは1つの役割に捉えられることもありますが、求められる知識や能力が異なるため、分けて考えることが望ましいです。また、理想的には全従業員がビジネス系プロデューサーであるという意識を持って取り組むことが、企業としてのDXの成功につながります」
3. **テクノロジスト (エンジニア)**: 現場で実際に**テクノロジーを活用**する役割を担う。自動化、データ・サイエンス、モノのインターネット (IoT)、人工知能 (AI) などの新興領域に注目しがちだが、確実にDXを推進していくためには、通信ネットワーク、IT基盤、セキュリティ、クラウドなどの既存の領域の役割も重要である。テクノロジストもまた、全従業員が対象となる。
4. **デザイナー**: ソリューション、サービス、アプリケーションの**ユーザー・エクスペリエンス (UX) をデザイン**する。UX面のコミュニケーション、UXとデザインに関する知識の社内普及に向けた**教育**なども行う。
5. **チェンジ・リーダー**: デジタル・テクノロジーの導入に伴う働き方 (業務、意識など) のシフトの主導、変革の目的やゴールの整理、変革のコミュニケーション計画の作成、関係者全員を巻き込んだ意識と行動変容に向けた**施策の計画／展開**などを担う。

ノウハウ継承へのDXの利用

知識

技能

←経験しないと身につかない、五感に依存、場数

レベル1 動画コンテンツ化



レベル2 VR(Virtual Reality)



レベル3 デジタルツイン

メリット:意思決定スピード向上

客室乗務員訓練、緊急時のスキル向上

スマートシティ開発

仮想サイバー空間において、日照・風
などを再現して検討



蓄積データの活用

サブスクリプション

モノやサービスを利用したい期間だけ契約して利用すること



継続した支払いを期待

簡単にやめられない理由

- ・定額料金で、サービスの利用し放題 → 習慣化
- ・スマホ決済 → 金銭感覚の希薄

ダイナミックプライシング

購買履歴や販売状況によりモノやサービスの価格が変動する仕組み

例 航空券、ホテル料金

シェアリングエコノミー

必要なものを必要なタイミングにリーズナブルな価格でサービスを利用

例 カーシェアリング、クラウドファンディング、民泊、クラウドソーシング